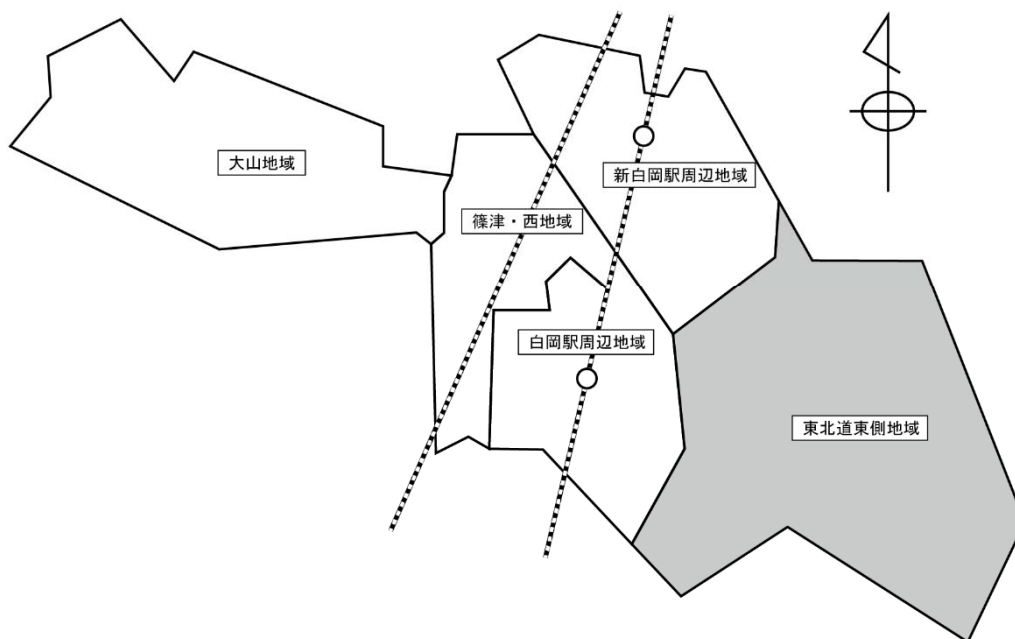


5 東北道東側地域

(1) 地域の概要

- 本地域は本市の東部に位置し、地域の南側は蓮田市、さいたま市岩槻区、東側は春日部市、宮代町にそれぞれ接しています。
- 地域内には、隼人堀川、姫宮落川、三ヶ村落堀、黒沼用水などの河川が多く、ほとんどが古くからの農地及び集落地となっており、緑の多いのどかな田園風景が広がっています。
- 地域面積は約940haで、本市全域の約38%を占めています。旧来から農業が栄えてきた地域ですが、宮山団地や東伸団地をはじめとした住宅団地の開発等により人口が増加してきました。しかし、近年において人口推移は減少傾向となっています。

●本市全域における東北道東側地域の位置



(2) 地域の概要と課題

① 人口に係る現況と課題

【現況】

- ・地域内人口は約11,000人で、本市総人口の約22%を占めています。

【課題】

- ・少子高齢社会に配慮した、既存集落を維持するための土地利用の誘導が必要となっています。

② 産業に係る現況と課題

【現況】

- ・本地域はほとんどが古くからの農地及び集落地となっており、緑の多いのどかな田園風景が広がっています。

【課題】

- ・後継者不足や農業基盤の弱体化が懸念されるため、優良農地等を保全するとともに、生産性の高い都市近郊農業の確立が必要となっています。

③ 土地利用に係る現況と課題

【現況】

- ・地域のほとんどは市街化調整区域※となっていますが、南西部の一部では市街化区域※の工業専用地域が指定されています。また、一部は都市計画法第34条第11号区域等に指定され、（旧）宅地造成事業に関する法律に基づく団地とともに第2種低層住居専用地域内に建築できる建築物等が立地可能となっています。
- ・ふれあいの森公園、白岡市総合運動公園などは、市庁舎付近に集中して立地しています。

【課題】

- ・市庁舎付近においては、集中するスポーツ施設や公園・広場等を活かしたまちづくりが必要となっています。また、県道さいたま幸手線及び春日部菖蒲線の沿道においては、幹線道路の機能を活かした土地利用の検討が必要となっています。
- ・将来にわたって自然環境を守っていくため、保全する農地としての位置づけが必要となっています。
- ・地域における人口を維持していくため、地域独自の資源の掘り起こしが必要となっています。

④ 交通体系に係る現況と課題

【現況】

- ・白岡駅へのアクセス道路としての都市計画道路※が未整備となっています。

【課題】

- ・白岡駅へのアクセス道路の早期整備が必要となっています。
- ・デマンド型の「のりあい交通※」が整備され、交通弱者の方の利便性の向上と持続可能なサービス提供が図られるようになりましたが、今後もバス路線網の確保など利便性向上のための検討が必要となっています。

⑤ 水と緑に係る現況と課題

【現況】

- ・優良な農地が広がり、集落地では屋敷林、寺や神社の樹木などは地域のシンボルとなっています。
- ・隼人堀川、姫宮落川、黒沼用水など、良好な水辺環境に恵まれています。

【課題】

- ・優良農地の確保、屋敷林や樹木などの保全及び管理により、緑を守っていくことが必要となっています。
- ・河川等の整備を行い、地域全体において、水や緑の持つ機能を効果的に活かせる公園等を巡る緑のネットワークの形成が必要となっています。
- ・今後も住民参加による緑の保全、創出、育成活動を推進していくため、住民・企業・行政による協働のまちづくりが必要となっています。

⑥ 防災に係る現況と課題

【現況】

- ・指定避難所は小中学校など3箇所が指定されていますが、地域の南東部においては指定避難所までの距離が比較的遠くなっています。
- ・隼人堀川、姫宮落川が未整備のため、大雨時には水害の恐れがあります。

【課題】

- ・雨水排水など総合的な治水対策のための河川改修が必要となっています。
- ・指定避難所等へのアクセスルートとなる道路の整備・改善が必要となっています。

⑦ 景観に係る現況と課題

【現況】

- ・市庁舎周辺はスポーツ施設や公園・広場等が集中し、それらを活かした都市景観を形成しています。
- ・広々とした農地の中に点在する住宅地には緑豊かな屋敷林があり、田園風景を形成しています。
- ・隼人堀川、姫宮落川では良好な自然景観が残る空間が見られます。

【課題】

- ・市庁舎周辺は、地域にふさわしい良好な都市景観の維持・保全が必要となっています。
- ・優良農地や周辺市町へ流れる隼人堀川や姫宮落川の良好な田園風景の維持・保全が必要となっています。
- ・市街地開発に当たっては「埼玉県景観条例」、「埼玉県景観計画」を踏まえ、自然景観、都市景観に配慮が必要となっています。

⑧ 福祉・その他の生活環境整備に係る現況と課題

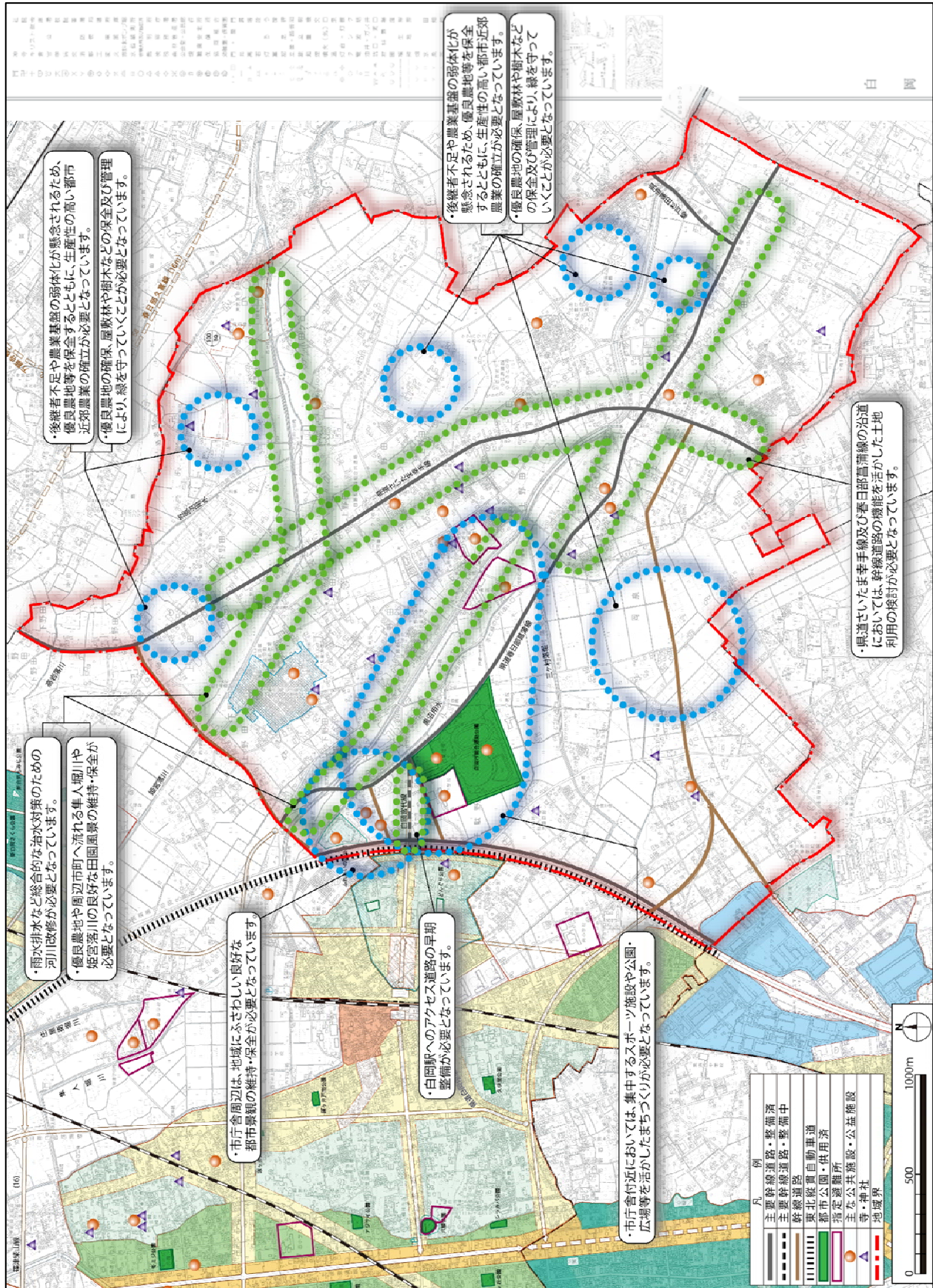
【現況】

- ・市庁舎周辺では、スポーツ施設や公園・広場等のバリアフリー※化を促進しています。

【課題】

- ・誰もが安心・安全に利用できるユニバーサルデザインの考え方を基本として、継続的にインフラの整備、維持修繕、更新が必要となっています。

●現況及び課題図 東北道東側地域



(3) 地域の目標(将来像)

「コミュニティ拠点」の形成と地域の定住を促進する商業サービス施設等の誘導

- ・公園や保健・福祉施設など住民サービス施設が集積する市庁舎周辺、各種競技会やイベントを開催する白岡市総合運動公園等周辺は、「コミュニティ拠点」として住民や周辺市町の人々が楽しめる空間の形成を図ります。
- ・幹線道路の沿道などにおいて、生活利便性の向上に資する商業サービス施設や、観光・レクリエーション空間の誘導などの土地利用を検討し、地域の定住促進を図ります。

(4) 整備方針

① 市庁舎周辺での行政施設集積地の形成と自然環境と住環境の調和

- ・市庁舎周辺においては、行政施設、文化施設など住民のサービス施設を集積し、行政施設集積地としての土地利用を図ります。
- ・宮山団地、東伸団地、桜ヶ丘団地等の既存の住宅団地においては、今後とも良好な住環境の保全・形成を図っていきます。
- ・岡泉、下野田、太田新井等の農地に囲まれた既存の集落地においては、自然環境と住環境との調和を図っていきます。
- ・岡泉、下野田、太田新井等の優良農地については、今後とも農業振興を図るため維持・保全します。
- ・県道春日部菖蒲線沿いでは、地域住民だけでなく、周辺市町から訪れる人にとっても利用しやすい、商業サービス施設の誘導を図ります。
- ・白岡市総合運動公園周辺は、豊かな親水空間を創出できる公園・緑地としての土地利用を図ります。

② 都市計画道路白岡宮代線及びその延伸整備、主要な生活道路整備とともにバスネットワークの形成

- ・未整備な都市計画道路*の整備を推進し、構想路線の検討をします。
- ・主要な市道を補助幹線道路として位置づけ、整備・改善を図ります。
- ・本地域から白岡駅へのアクセス道路を整備するとともに、白岡駅や新白岡駅へ至るバスネットワークの形成を促進します。

③ 隼人堀川、姫宮落川、黒沼用水など水辺空間の保全

- 良好な自然環境を有している隼人堀川、姫宮落川、黒沼用水、優良農地においてはその保全と活用を図ります。
- 屋敷林、雑木林などの維持・保全を図ります。
- 姫宮落川沿いを「水と緑のネットワーク」として位置づけ、東武動物公園から新白岡駅周辺に至る東西方向を遊歩道として整備し、緑化の推進を図ります。
- 黒沼用水沿いの「水と緑のふれあいロード」においては、植樹するなど緑化の推進を図ります。

④ 安全に避難できる環境整備とコミュニティ単位の防災体制づくり

- 農地及び緑地の保全や創出によりオープンスペースを確保するとともに、主要な生活道路の拡幅、指定避難所案内図を設置するなど、安全に避難できるような環境整備を図ります。
- 災害緊急時に救急、救助、救援活動等が速やかに行えるように、コミュニティ単位の防災体制づくりを強化し、防災面での地域のつながりを高めます。

⑤ 隼人堀川、姫宮落川でのうるおいのある景観づくりと下野田の一里塚などに代表される歴史的な資源の保全・活用

- 隼人堀川、姫宮落川については、河川沿いの緑地景観を保全するとともに、河川改修等に合わせたうるおいのある景観づくりを推進します。
- 遊歩道については、舗装の改善・整備を進めながら、景観に配慮した植栽、ベンチなどの設置等を進めます。
- 下野田の一里塚は埼玉県の記事物に、岡泉鷲神社の大ケヤキ、爪田ヶ谷諏訪神社の大スギは本市の天然記事物に指定されていることから、歴史的な景観資源として、今後とも保全・活用を図ります。

⑥ 地域の定住を促進できる小さな生活拠点づくり

- 地域住民の生活利便性の向上に資する商業サービス施設等の誘導を図り、「持続可能な生活拠点づくり」を目指します。
- 東武動物公園周辺の主要幹線道路構想路線の沿道において、東武動物公園の集客力を活かし、地域を観光・レクリエーション空間として土地利用の誘導を推進します。

●まちづくり方針図 東北道東側地域

